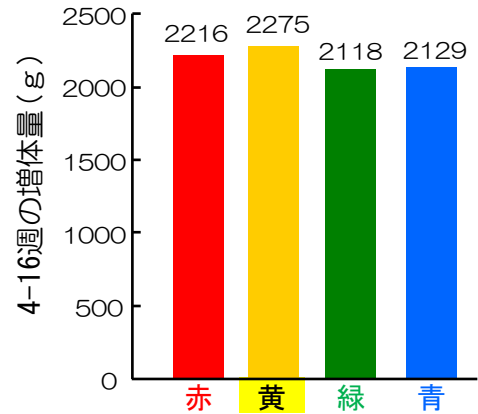
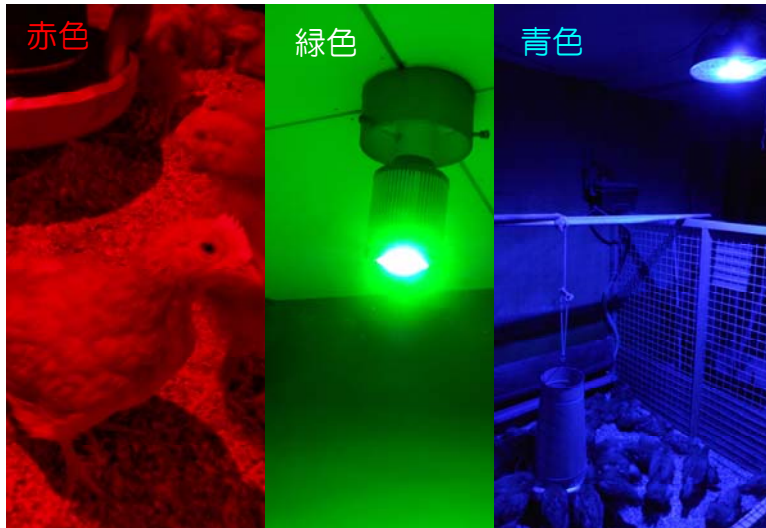
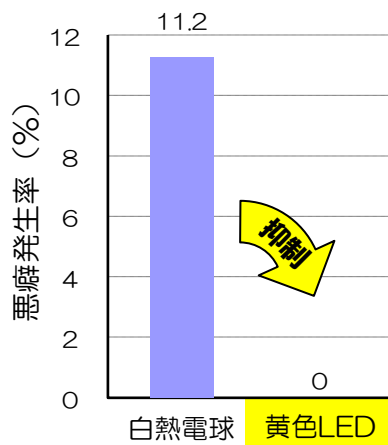


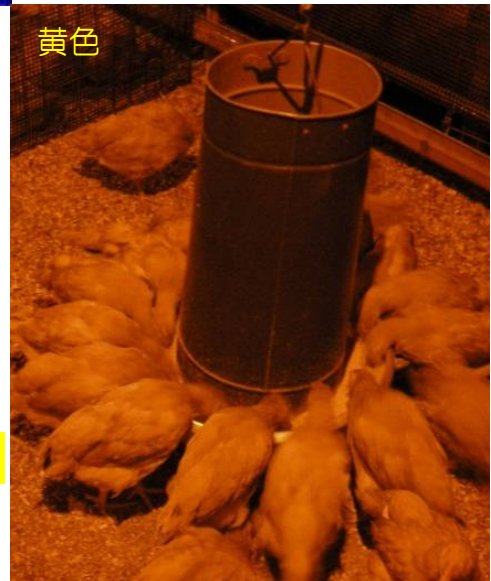
肉用名古屋コーチンの飼育におけるLED照明の影響



LED照明色の違いによる増体量



光源の違いによる悪癖発生率



白熱電球は2012年に製造中止が予定されており、養鶏経営の一部ではLEDへの切り替えが始まっています。そこで愛知県特産の肉用名古屋コーチンへのLED照明の影響について調査しました。

赤・黄・緑・青色のLED下で雄鶏を飼

育したところ、黄色で最大の増体量を示し、また、鶏の行動に及ぼす影響を調査したところ、黄色LED照明下では従来の白熱電球照明下で見られる悪癖（鶏同士のつき合いによる羽の傷や出血）の発生が認められませんでした。

(畜産研究部)